

小児用肺炎球菌ワクチン

平成23年4月1日
接種分より開始



任意予防接種費用の一部助成を実施します！

日本では肺炎球菌感染症は5歳未満の小児に多く、発症年齢のピークは1歳です。毎年約200人くらいの子どもが細菌性髄膜炎を発症し、亡くなる方が10%前後、深刻な後遺症は30~40%くらいになります。肺炎は約12,000人、この他、重い中耳炎や肺炎、菌血症や敗血症にいたることもあります。

小児用肺炎球菌ワクチンは「任意接種(保護者の判断で接種するかどうか決めるもの)」です。費用は全額自己負担となるため、品川区では接種希望者に費用の一部助成を行います。

1. **助成対象となる接種年齢** 生後2ヶ月~5歳の誕生日の前日 まで
2. **助成額** 1回につき 5,000円 (1人最大4回まで助成)
3. **接種スケジュール**
お子さんの月齢や年齢によって接種回数は異なります。詳細は裏面をご覧ください。
※接種希望の方は、接種予約が必要です。かかりつけ医へご相談ください。

4. 助成の方法

品川区内の契約医療機関で接種する場合のみ助成があります。

各医療機関の定める予防接種料金から、助成金額(5000円)を差し引いた金額をお支払いください。

接種の際は ①母子健康手帳 ②お子さんの健康保険証 をお持ちください。

※ **平成23年4月1日**から、品川区外で接種した任意予防接種(小児用肺炎球菌・Hib・流行性耳下腺炎<おたふく>・水痘<水ぼうそう>)は、原則助成がなくなり、**全額自己負担**となりますのでご注意ください。

裏面につづく



【重要：健康被害に対する救済措置について】

小児用肺炎球菌ワクチンは予防接種法に基づかない任意の予防接種に位置づけられています。このため、万が一ワクチン接種による健康被害が発生した場合は、予防接種法の被害救済対象にはならず、独立行政法人医薬品医療機器総合機構法に基づく、副作用救済給付の対象になります。また品川区では、特別区自治体総合賠償保険に加入しておりますので、区内契約医療機関で接種した場合は、定期予防接種と同等程度の補償が受けられます。

国内で販売承認されていないワクチンは、医療機器総合機構法の救済制度の対象にはなりませんので、接種の場合は、医師にワクチンについて確認をしてから接種を受けてください。

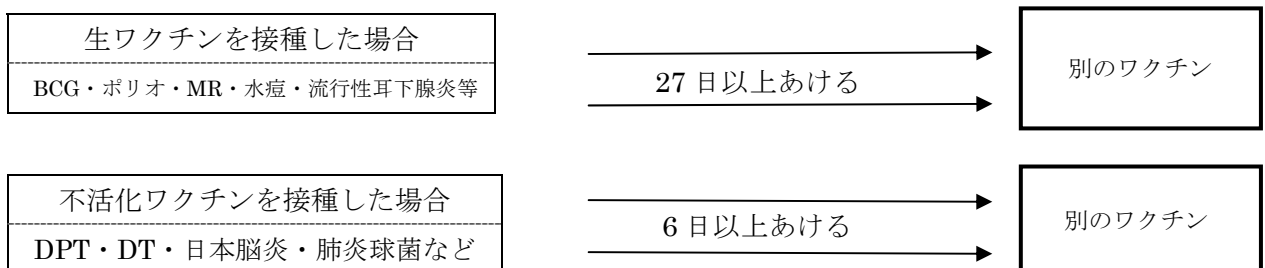
<p style="writing-mode: vertical-rl;">肺炎球菌 感染症</p>	<p>肺炎球菌は約 90 種類に分類されていて、鼻やノドに常在し、一部の強い病原性を持つタイプでは、髄膜炎や敗血症を合併しやすく、特に 2 歳以下では、細菌性髄膜炎が多く見られ、亡くなる方が 10% 前後、後遺症として、発達・知能・運動障害や、聴力障害などは 30~40% くらいといわれています。また、上気道炎や細菌性中耳炎の 30% は肺炎球菌が原因といわれています。</p>										
<p style="writing-mode: vertical-rl;">小児用肺炎球菌ワクチン</p>	<p>小児用肺炎球菌ワクチンは、2010 年 2 月に国内で接種が開始されました。</p> <p>「任意接種」という種類の予防接種で、接種するかどうかは保護者の判断になります。(有料)</p> <p>接種スケジュールは、開始時期における月齢や年齢によって異なります。</p> <p>接種方法</p> <p>(1) 初回接種</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">① 生後 2 ヶ月～7 ヶ月未満</td> <td style="width: 30%;">27 日以上の間隔で 3 回接種</td> </tr> <tr> <td>② 生後 7 ヶ月～1 歳未満</td> <td>27 日以上の間隔で 2 回接種</td> </tr> <tr> <td>③ 1 歳</td> <td>60 日以上の間隔で 2 回接種</td> </tr> <tr> <td>④ 2 歳以上 5 歳未満</td> <td>1 回接種のみ</td> </tr> </table> <p>(2) 追加接種</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 30%;">① および ② の方</td> <td style="width: 30%;">60 日以上あけて 1 回接種 (生後 12 ヶ月～15 ヶ月の間)</td> </tr> </table>	① 生後 2 ヶ月～7 ヶ月未満	27 日以上の間隔で 3 回接種	② 生後 7 ヶ月～1 歳未満	27 日以上の間隔で 2 回接種	③ 1 歳	60 日以上の間隔で 2 回接種	④ 2 歳以上 5 歳未満	1 回接種のみ	① および ② の方	60 日以上あけて 1 回接種 (生後 12 ヶ月～15 ヶ月の間)
① 生後 2 ヶ月～7 ヶ月未満	27 日以上の間隔で 3 回接種										
② 生後 7 ヶ月～1 歳未満	27 日以上の間隔で 2 回接種										
③ 1 歳	60 日以上の間隔で 2 回接種										
④ 2 歳以上 5 歳未満	1 回接種のみ										
① および ② の方	60 日以上あけて 1 回接種 (生後 12 ヶ月～15 ヶ月の間)										
<p style="writing-mode: vertical-rl;">ワクチンの 効果と副反応</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 小児用肺炎球菌ワクチンの接種により、肺炎球菌による重い感染症（細菌性髄膜炎、菌血症など）を予防することが期待されます。 ● 国内臨床試験でみられた副反応は注射部位の症状（赤み、硬結、腫れ、痛みなど）、発熱（37.5℃ 以上）などです。いずれも数日程度の経過で、自然軽快しています。 										

【小児用肺炎球菌ワクチン と DPT(三種混合)ワクチン の同時接種について】

DPTは、生後3ヶ月から接種ができます。小児用肺炎球菌ワクチンとの同時接種をご希望の場合はかかりつけ医にご相談ください。

【異なった種類のワクチンを接種する場合の間隔】

予防接種で使うワクチンは「生ワクチン」と「不活化ワクチン」があり、ワクチンを接種した後に別のワクチンを接種する場合には間隔を守ることが必要です。



品川区では、生後3ヶ月過ぎに「4ヶ月健診」のご案内(個別通知)を送付しています。4ヶ月健診では、BCG(生ワクチン)予防接種があります。BCGの前にHibやDPTの接種を受ける場合、6日以上の間隔をあける必要があります。

【申請場所・問い合わせ先】

品川区保健所保健予防課	5 7 4 2 - 9 1 5 3	品川保健センター	3 4 7 4 - 2 2 2 5
大井保健センター	3 7 7 2 - 2 6 6 6	荏原保健センター	3 7 8 8 - 7 0 1 3
品川区ホームページ	http://www.city.shinagawa.tokyo.jp/ → 子育て → 乳幼児の予防接種		